

中学校 保健体育

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 各教科 第7節 保健体育」に示されている内容について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「第2 各学年の目標及び内容 体育分野 第3学年 2 内容 F 武道」の記述について、空欄A～Eに入る語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、（ A ）な考え方、技の名称や（ B ）の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。
- 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、（ C ）な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。
- 武道に自主的に取り組むとともに、（ D ）を尊重し、（ A ）な行動の仕方を大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や（ E ）を大切にしようとし、健康・安全を確保すること。

	A	B	C	D	E
1	基本的	寝技	合理的	相手	工夫
2	基本的	見取り稽古	多角的	自ら	挑戦
3	伝統的	見取り稽古	合理的	相手	挑戦
4	伝統的	寝技	合理的	自ら	工夫
5	伝統的	見取り稽古	多角的	相手	工夫

(2)「第2 各学年の目標及び内容 体育分野 第3学年 2 内容 G ダンス」の記述について、
空欄A～Eに入る語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 2

- 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、(A) のある動きや(B) の使い方で変化を付けて(C) に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。
- フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的な(D) や動きと組み方で踊ること。
- 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化と(E) を付けて、リズムに乗って全身で踊ること。

	A	B	C	D	E
1	緩急強弱	全身	感情的	身振り	まとまり
2	緩急強弱	空間	即興的	ステップ	まとまり
3	緩急強弱	空間	感情的	身振り	強弱
4	創意工夫	全身	即興的	ステップ	強弱
5	創意工夫	空間	感情的	ステップ	まとまり

(3)「第2 各学年の目標及び内容 保健分野 2 内容」の記述について、空欄A～Eに入る語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 3

- 健康は、主体と環境の（ A ）の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。
- 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の（ B ）のとれた生活を続ける必要があること。
- 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の（ C ）や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。
- 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、（ D ）をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。
- 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、（ E ）は、正しく使用すること。

	A	B	C	D	E
1	相互作用	バランス	心理状態	発生源	医療情報
2	土台	バランス	心理状態	ストレス	医薬品
3	相互作用	調和	意識	ストレス	医療情報
4	土台	調和	意識	発生源	医療情報
5	相互作用	調和	心理状態	発生源	医薬品

2 教科「保健体育」体育分野に関連する（１）～（２）の問いに答えよ。

（１）スポーツ庁ホームページ（令和８年５月時点）に掲載されている「スポーツ基本法改正～社会課題の解決とウェルビーイングの向上～」に示されている内容について、次のＡ～Ｅのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。

解答番号は

4

- A スポーツは、障害者をはじめとする全ての国民が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、必要な配慮をしつつ、共生社会の実現に資することを旨として、推進されなければならない。
- B 全ての国民にスポーツに親しむことのできる機会等が確保された上で、これら機会を通じ、国民一人一人と社会のウェルビーイングの向上が図られなければならない。
- C 中学校等の生徒が地域において継続的に多様なスポーツに親しむことができる機会の確保。
- D スポーツの推進に寄与する情報通信技術の活用とそのための施策の推進、スポーツを行う者の心身の健康の保持増進や安全確保に配慮したeスポーツの充実。
- E スポーツにおける「暴力」、「パワーハラスメント」、「セクシュアルハラスメント」、「盗撮」、「誹謗中傷」等の防止や、スポーツ団体のガバナンスの確保等。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	○
2	○	×	○	×	×
3	×	○	×	○	×
4	○	○	○	○	○
5	×	×	○	○	○

(2) 学校体育実技指導資料第2集「柔道指導の手引(三訂版)」(文部科学省)に示されている内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

5

- A 「立礼」は、踵を付け、伸ばした指先が体側から膝頭にとどくまで約30度前に倒す。
- B 柔道の投げ技の攻撃に最も適した基本的な姿勢を「自護体」という。
- C 相手を投げるために、相手の体勢を不安定にすることを「崩す」といい、基本的な崩しには八方向の崩しがある。
- D 相手の姿勢を崩しながら、投げやすい体勢になることを「体さばき」という。
- E 抑え込みの条件として、「取が仰向けの姿勢である」、「受が取とほぼ向き合っている」、「受が脚を絡まれるなど取から拘束を受けていない」がある。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	×
2	○	○	○	×	○
3	×	×	×	○	○
4	×	○	○	×	×
5	○	×	×	×	×

3 各競技ルールに関する（１）～（４）の問いに答えよ。

（１）「2026バスケットボール競技規則」（（公財）日本バスケットボール協会）に示されている内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は

6

- A フロントコート内でライブのボールをコントロールしているチームのプレーヤーは、ゲームクロックが動いている間は、相手チームのバスケットに近い制限区域内に３秒以上とどまることはできない。
- B 近接してガードされているプレーヤーは、５秒以内にパス、ショットあるいはドリブルをしなければならない。
- C プレーヤーがバックコート内でライブのボールをコントロールしたとき、そのチームは、１０秒以内にボールをフロントコートに進めなければならない。
- D コート上でプレーヤーがライブのボールをコントロールするとき、そのチームは３０秒以内にショットをしなくてはならない。
- E フリースローシューターは、審判からボールを与えられたあと、５秒以内にボールを放たなければならない。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	○
2	×	○	×	○	×
3	×	×	○	×	○
4	○	○	○	○	×
5	○	○	×	×	○

(2) (公財) 日本ソフトボール協会が示している「ソフトボールの基礎知識」について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

7

- A 一塁のダブルベースにおいて、打者が内野ゴロを打つなど、一塁でプレーが行われるときは、原則として守備者はオレンジベースを使用する。
- B ウインドミルは、時計の振り子のように腕を下から振り上げ、その反動を利用して前方に振り戻して投げる投法である。
- C 投球において、投手は打者に対して、手と手首が必ず体側線を通りながら球を離さなければならない。
- D 野球と比べて塁間が狭いため、盗塁は禁止されている。
- E スターティングプレイヤーはいったん試合から退いても、一度に限り再出場することが認められている。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	○
2	×	○	×	×	×
3	×	×	○	×	○
4	○	×	○	○	×
5	×	○	○	○	×

(3)「サッカー競技規則2025/26」((公財)日本サッカー協会)に示されている内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

8

- A ゴールポストの間とクロスバーの下で、ボールの一部がゴールラインを越えたとき、ゴールにボールを入れたチームが反則を行っていないければ、1得点となる。
- B ゴールキーパーが、相手のゴールにボールを直接投げ入れた場合、1得点となる。
- C 間接フリーキックが行われ、ボールが相手ゴールに直接入った場合、やり直しとなる。
- D スローインから直接得点することはできない。
- E ゴールキックは、ボールは静止していなければならない、ゴールエリア内の任意の地点から守備側チームの競技者によってけられる。

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	○	○
2	×	○	×	×	×
3	○	○	○	○	○
4	○	×	×	×	○
5	×	○	○	○	×

(4)「日本卓球ルール2025（令和7年版）」（（公財）日本卓球協会）に示されている内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

9

- A ボールが「インプレー」とは、サーバーがボールを打った瞬間から、ラリーがレットまたはポイントになるまでの間をいう。
- B 「打つ」とは、競技者が手に持ったラケットまたは手首から先のラケットハンドでインプレーのボールに触れた場合をいう。
- C サービスの際、正しく出されたサービスがサーバーのコートでバウンドした後、ネットアセンブリに触れて相手コートに入った場合はレットとなる。
- D ラリーがレットにならない限り、相手競技者が正規のサービスを行えなかった場合、競技者に1ポイントが与えられる。
- E ラリーがレットにならない限り、相手競技者のフリーハンドがプレーイングサーフェスに触れた場合、競技者に1ポイントが与えられる。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	×
2	×	○	×	×	○
3	○	○	×	○	×
4	×	○	○	○	○
5	○	×	○	×	○

4 教科「保健体育」保健分野に関連する（１）～（６）の問いに答えよ。

（１）令和７年７月２９日に国の薬物乱用対策推進会議がとりまとめた『「第六次薬物乱用防止五か年戦略」フォローアップの概要』に示されている内容について、次のＡ～Ｅのうち、誤っているものはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は

- A 令和６年の薬物事犯全体の検挙人員は、令和５年より増加した。
- B 令和６年の大麻事犯の検挙人員は、令和５年より減少し、覚醒剤事犯の検挙人員を下回る結果となった。
- C 令和６年のMDMA等錠剤型合成麻薬押収量は、平成３０年に比べて大幅に増加している。
- D 大麻事犯の検挙人員のうち、３０歳未満が占める割合は、平成３０年から５割を超えており、高水準で推移している。
- E 覚醒剤事犯における再犯者率は、平成２７年以降、６割を超えている。

- １ A
- ２ B
- ３ C
- ４ D
- ５ E

(2) 令和8年5月29日から運用が開始された新たな防災気象情報の内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

11

- A 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）が10段階の警戒レベルにあわせて発表される。
- B 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として特別警戒警報が新設された。
- C 「レベル3大雨警報」等、情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表される。
- D これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行われない。
- E レベル3土砂災害警報は、発表基準が見直され、従来のもので大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル4相当に至らない情報発表が大幅に削減される。

	A	B	C	D	E
1	×	×	○	○	○
2	×	○	○	○	×
3	○	×	×	○	×
4	○	○	○	×	○
5	○	×	×	×	○

(3)「熱中症特別警戒アラート」及び「熱中症警戒アラート」に関して、次のA～Eのうち、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 熱中症警戒アラートは、都道府県内の全ての暑さ指数情報提供地点で翌日の日最高暑さ指数が35に達すると予測される場合に発表される。
- B 熱中症特別警戒アラートの状況下では、個人の「自助」による予防行動のみで十分であり、周囲による見守りなどの「共助」は不要とされる。
- C 熱中症警戒アラートが発表された際、都道府県知事が事前に指定している「指定暑熱避難施設」が開放される。
- D 熱中症特別警戒アラートは、令和6年4月から運用が開始され、令和8年4月までに全国で13回発表された。
- E 熱中症特別警戒アラートは、前日10時頃における翌日の予測値で判断され、前日14時頃に発表される。

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

(4)「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)の概要」(環境省)に示されている内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

13

- A 2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けた、国民の行動変容・ライフスタイル転換を強力に後押しするための国民運動である。
- B 脱炭素の実現に向け、産業分野での二酸化炭素(CO₂)削減を主目的としており、国民のライフスタイル分野は対象外としている。
- C 国民の具体的な行動変容を促すため、国が単独で新しい暮らしを提案・実施し、民間企業の介入を制限している。
- D 国内での新たな消費・行動の喚起よりも、まずは発展途上国への技術支援を優先的に実施することを活動の柱としている。
- E 「デコ活」とは、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉である。

	A	B	C	D	E
1	×	×	○	×	×
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	×	○
4	○	×	○	○	○
5	×	○	×	○	○

(5) 「知っておきたい食品の表示」(令和7年4月版 消費者庁) に示されている内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

14

- A 食物アレルギーとは、食物を摂取した際、身体が食物に含まれるたんぱく質等を異物として認識し、自分の体を過剰に防御することで不利益な症状を起こすことである。
- B 令和5年3月、アレルギー表示の対象品目である特定原材料に「くるみ」が追加された。
- C 令和6年3月、アレルギー表示の対象品目である特定原材料に準ずるものに「まつたけ」が追加され、「マカダミアナッツ」が削除された。
- D 特定保健用食品に表示されている効果や安全性については国が審査を行い、食品ごとに消費者庁長官が許可している。
- E 機能性表示食品は、事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品である。

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	○	×
2	○	○	×	○	○
3	○	×	×	×	×
4	×	○	○	○	○
5	○	○	○	×	×

(6)『令和7年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果』(スポーツ庁)について、次のA～Eのうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 20歳以上の週1日以上スポーツ実施率は約5割である。
- B 男女別では、男性より女性のスポーツ実施率が低い状態が続いている。
- C 年代別では、20代～50代の子育て・働き盛り世代でスポーツ実施率が低い傾向となっている。
- D 複数人で実施する割合が低い運動・スポーツ種目ほど、充実度、幸福度が高い傾向がみられた。
- E 20歳以上の1週間あたりの運動・スポーツ実施時間の中央値は69分である。

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

5 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次の各文は、体育・スポーツに関する用語の説明である。それぞれの正式名称を答えよ。

A 器械運動のマット運動における下図の技の名称。



B 陸上競技の走動作において、一定時間に足が接地する回数のこと。

C 水泳競技において、水中における抵抗の少ない姿勢のこと。

D ハンドボールにおいて、3秒より長くボールを保持する反則のこと。

E テニスにおいて、ネット付近で相手から直線的に飛んできたボールをノーバウンドで返球する技術のこと。

F 剣道において、打突した後に油断せず、相手のどんな反撃にも直ちに対応できるような身構えと気構えのこと。

(2) 次の各文は、近年の自転車に関する法律の改正内容について、空欄A～Bに入る適切な語句を答えよ。

○ 令和5年4月1日に施行された、(A)の努力義務化

○ 令和8年4月1日に施行された、(B)制度の導入

(3) 次の各文は、保健に関する用語の説明である。それぞれの正式名称を答えよ。

- A 免疫力の低下により、本来なら自分の免疫力で抑えられるような肺炎などの病気になる感染症のこと。
- B 病原体に感染してから症状が現れるまでの期間のこと。
- C 主に遺伝子に傷が付くことで遺伝子が変わり、正しく働かなくなった細胞により発症する病気のこと。
- D 受精卵が着床しやすいように子宮内膜を柔らかくし、妊娠に備えて体温を上げたり、乳腺を発達させたりする、黄体ホルモンとも呼ばれるホルモンのこと。
- E 日常生活におけるヘルスケア・疾病予防・ヘルスプロモーションの場面で用いる、健康情報を入手、理解、評価、活用する力のこと。

(4) FIFAワールドカップ2026について、開催国名及び出場チーム数を用いてどのような大会か説明せよ。

(5) 日本の国民皆保険制度の特徴について、次の語句を用いて、それぞれの観点から説明せよ。

公的医療保険	自由	高度な医療
--------	----	-------

